
深淵

YH15-DRONE

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

深淵

【コード】

N9405X

【作者名】

YH15 - DRONE

【あらすじ】

深淵で見たものは赤と扉、そして……。

(前書き)

注意！

これは私の考察で書いたものです。

よって真実ではありません！！

ここまで進んで無い不死者は読んじゃダメ！

知ってしまった…！

この世の本当の理が甘い嘘で固められ、真実を理解するもそれは、それはあまりにも苦痛だ！

嘘だ…！

いや、真実だ貴公の祖先であるお方はどの王よりも強大なソウルを有していた…：…だが、あの又ケガラはそれを恐れソウルを見出して間も無い時に他の王達と策略し…：…

黙れ！

信じてきたものが音を立てゆっくりと崩れ始めるのは耐え難き事。崩壊を進める主に震える腕で剣を向ける。話し手はこちらに憐れんだ視線を向ける。

3

おお…：…苦しかりう！だがそれは、お前が犯してきた罪への贖罪！その苦しみを乗り越え今一度奮い立て…！それとも？彼奴等の言いなりになり、未だ彼奴等を世界の中心にさせるつもりか！？思い出せ！裏切り者などに王のソウルを分け与えるようなうつけ者が王なのだぞ！

自分を中心にクルクルと廻りながら老いた蛇は語る。ふと…：…私の奥底から何かが来たる。思考は赤くなり今までの考えを罵倒し、全身を駆け巡る。これは？…：…。

気がつけば痛みは無くなっていた。

湧き出た赤色の思考は静かに私を目の前の蛇を見据えさせた。まるで誰かに…コレが真実だ…と頬を叩かれのような衝撃。信じて来た物はまるで扉だ。堅く閉ざされた扉から赤色は雪崩れ込んで来たのだ。

どうすればいい？

赤、紅…次は？

よろしい。不死の英雄よ！貴公はこの深淵に飲み込まれそして昇華した！他の王共を殺し…貴公は闇の王となるのだ！

復讐だ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9405x/>

深淵

2011年11月15日03時35分発行